

平成 24 年度の取組

行政区	宮城野区	学校番号	26	学校名	仙台市立岡田小学校
-----	------	------	----	-----	-----------

1 重点取組事項

- 1 小中連携（震度5強下校時の際の児童生徒引き渡しの連携，引き渡しカードの統一化）。
- 2 地域合同の防災訓練の実施。
- 3 防災ノート・防災下敷きの高砂中学校区バージョンの作成。
- 4 全クラスで，防災に関する授業の実施（外部講師を招いての授業も含めて）。

2 今年度の取組状況

1 小中連携引き渡しカードの統一化と引き渡し訓練

年度当初，まずは「引き渡しカード」の見直しと再編に取り掛かりました。これまでは，それぞれの学校で独自のものを使用していましたが，高砂中学校区内で被災した場合に小・中どちらの学校でもスムーズに引き渡しが行えるよう，各校の防災教育担当者と検討を重ね「引き渡しカード」の統一化を図りました。そして，7月8日（土）の地域合同防災訓練では，実際にそのカードを利用した引き渡し訓練を実施しました。



2 地域合同の防災訓練の実施

《訓練想定》

午前8時45分に宮城県沖を震源とする地震が突然発生し，市内は震度6弱以上となり，大津波警報が発令され，家屋の倒壊，道路の損壊等の被害が発生し，ライフライン等の施設に大きな被害が発生した。

地域の方々と打ち合わせを重ね，「濃煙避難訓練」「初期消火訓練」「119番通報訓練」「AED操作訓練」「人工呼吸訓練」「応急手当訓練」に3年～6年児童とその保護者，地域の方々そして教職員とで取り組みました。低学年の児童は，保護者と一緒に教室内で防災に関するDVDを鑑賞後，訓練の見学と『初期消火訓練』を行いました。

地域の方々は自力で避難できない住民の支援活動も行いました。最後には消防車による放水の様子を見学し，地域の方が作ったアルファ米を受け取り訓練は終了しました。



【学年毎に校舎内に避難】



【濃煙避難訓練】



【119番通報訓練】



【初期消火訓練】



【人工呼吸訓練】

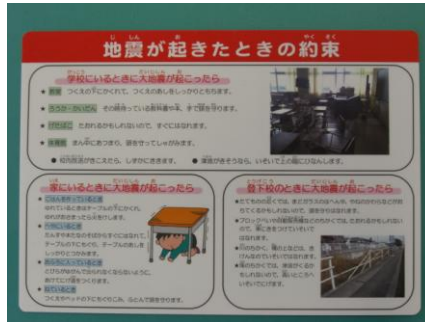


【応急手当訓練】

3 高砂中学校区バージョンの「防災下敷き」作成と全児童への配付



震災時の津波浸水区域を明示したり、地域の高い建物を表示したりすることで、津波への備えについて意識を高めることができました。



学校にいる時、家にいる時、登下校の時と状況に応じて適切な行動がとれるように約束事が明記されています。



下敷きタイプになっているので、普段から何気なく目にする事が多く、防災についての意識を高めることができます。

4 年間指導計画に基づいた防災教育の実施



今年度は特に「津波からの避難」という点に力を入れ、各クラスで防災に関する授業を行いました。気象庁から配付されたDVD教材『津波からにげる』を使い職員研修を行った後、各学年に応じた内容で授業を行いました。

また、3年生～5年生は東京海上日動の『防災出前授業』を受講しました。地震のメカニズムや地震発生後の被害、地震が起こった時の対応について詳しく教えていただき、最後には「防災」に向けて自分が出来ることを考え発表しました。

3 成果と課題

- 地域の方々と打ち合わせを重ね、合同の防災訓練を行うことができたのは大きな成果であったと思います。特に実技体験の訓練が数多くあり、様々な体験を通して、防災に対する意識の高揚、そして災害時の具体的な対応方法を知ることができました。
- 高砂中学校区に特化した「防災下敷き」を配付し、全クラスで『防災』に関する授業を行えたことは一つの成果でした。今後は、6年間を見通して児童に身に付けさせたい力を明確にし、発達段階に応じて系統立てて『防災教育』を行っていくことが大切だと考えています。同時に、状況に応じて正しく判断し、行動できるような実践力を養っていけるよう繰り返し指導していく必要があると思います。

